

社外からの評価

「三井住友銀行私募債における企業の環境活動評価でAAA評価を獲得

三井住友銀行は、「SMBC環境配慮評価融資・私募債」として2008年10月に融資、2009年6月に私募債を開始し、これまでに約30社、1,000億円の実績となっています。

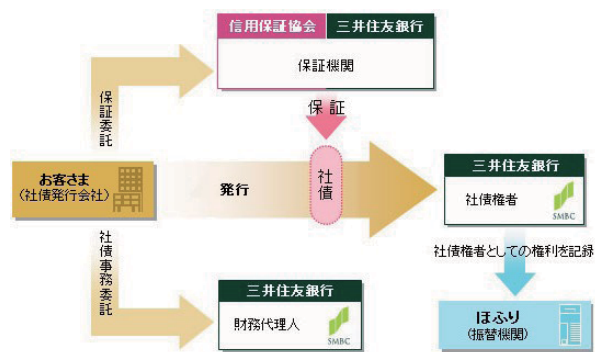
この制度は、環境に配慮した経営を行っている企業を、調査を担当する日本総合研究所が企業からの調査票の回答内容および環境部門の責任者にヒアリングを行い、これらを総合的に評価した結果で環境配慮評価の格付けを行い、金利優遇を行うものです。

カシオは2010年、私募債への応募を行い、評価結果として、「企業経営において大変優れた環境配慮を実施」していると、最上位のAAA評価を獲得しました。一方で、環境コミュニケーションと、海外拠点におけるCO₂削減、廃棄物対策におけるパフォーマンスの改善、生物多様性にかかわる具体的な取り組みが十分でないなどの課題も見つかリ、今後

改善を行い環境経営度の向上につなげていきます。

※私募債とは、証券会社を通じて広く一般に募集される公募債（不特定多数の投資家を対象）とは異なり、少数の投資家が直接引受する社債のことをいいます。

■私募債のスキーム



環境データ

▶▶ マテリアルバランス

マテリアルバランスは、カシオの省エネ・省資源モノづくりの環境診断書です。エネルギー・資源投入量と排出・処分量の最小化を目指す方向です。

マテリアルバランスとは

マテリアルバランスとは、カシオグループが自らの事業活動に対して、全体としてどの程度の資源・エネルギーを投入し（事業活動へのインプット）、どの程度の環境負荷物質（廃棄

物を含む）などを排出し、どの程度の製品を生産・販売したのか（事業活動からのアウトプット）をあらわしたもので、カシオグループの環境負荷の全体像がつかめます。

2010年度実績

2010年度は、期初にTFT液晶事業（高知カシオ並びに八王子技術センターのデバイス部門）と携帯電話端末事業を譲渡し、カシオグループの連結対象から切り離したことにより、環境実績の集計対象範囲（バウンダリ）が縮小しました。この結果、各環境実績項目の数値が大きく減少しています。

カシオグループでは生産設備の省エネ化や生産プロセス

の改善を促進し、継続して改善を図ります。

なお、2011年3月に発生した東日本大震災による国内電力供給状況の悪化に対処するため、カシオグループとして一層の省エネ施策を実施していきます。